

**福井県立恐竜博物館**

所在地	勝山市村岡町寺尾51-11		
設置年月日	平成12年7月14日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	恐竜を中心とした古生物および地質時代の地球の歴史に関する資料の収集、保管、展示、研究等を行い、古生代の福井の姿を紹介するとともに、世界の恐竜研究に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延15,086㎡ 展示室・講堂・ダイナラボ・ダイノシアター・化石クリーニング室・恐竜骨格30体以上		
職員数	正職員14人(うち研究員8人)、非常勤嘱託4人 アルバイト4人 計22人		

施設の特徴	<p>恐竜化石発掘調査で多くの標本が発見され、勝山市近辺には当時豊富な恐竜の群が生活していたことが明らかになった。恐竜博物館は、そのような恐竜に関する資料を展示した、国内最大級の博物館であり、地元勝山市のイメージアップに貢献するとともに、県内外から多数の入館者が訪れるなど本県の観光資源としても重要である。</p> <p>実物大かつリアルな恐竜のロマンと不思議を体験でき、自然科学に対する子供たちの夢、関心を醸成している。</p> <p>毎年常設展示の展示物の一部入れ替えと新着標本の追加を行い、常設展示の充実と来館者に対する新たな情報提供を図っている。</p> <p>奥越地域、高志地域の小中学校を訪問し、遠足等での利用を積極的に推進している。</p>
-------	---

**行政コスト計算書(平成15年度)** (単位 千円)

	総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	135,872 14.8%
	退職給与引当金繰入	7,546 0.8%
	計	143,418 15.6%
物にかかるコスト	物件費	324,881 35.5%
	維持補修費	1,202 0.1%
	減価償却費	254,708 27.7%
	計	580,791 63.3%
その他	公債費利子	191,810 20.9%
	その他	1,986 0.2%
	計	193,796 21.1%
合計	918,005	100.0%

**バランスシート(平成15年度末現在)** (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	13,146,919	固定負債	9,892,892
投資等	0	流動負債	670,856
流動資産	0	正味資産	2,583,171
計	13,146,919	計	13,146,919

平成15年度の活動実績	<p>オーストラリア国立モナシュ大学付属モナシュ科学館と協力し特別展「オーロラをみた恐竜たち」を53日間にわたって開催し、76,108人が来館。モナシュ科学館所蔵の収蔵資料を中心に極圏地域の恐竜やその当時の環境などを紹介し好評を得た。</p> <p>大人から子供までのあらゆる層の多様なニーズに応じた、セミナー、自然教室、ふれあい教室等教育普及事業を41回開催し、児童生徒、親子等約1,400名が参加。その成果もあり、来館者総数に占める小中学生は43,250人(全体の16.9%)となり、児童・生徒を中心にわかりやすい古生物学を紹介できた。</p> <p>一方で、入館者に占める高校・大学生は2%と少数であり、高校・大学生に関心を持ってもらうことが課題である。</p> <p>県観光連盟と連携し、東京、名古屋、大阪において旅行代理店等に対し、誘客のためのPRを実施した。</p>
-------------	---

(単位 千円)

収入 (15年度)	利用料等収入	89,538	9.8%
	その他収入	7,731	0.8%
	一般財源	820,736	89.4%

利用料等収入計	89,538,000 円
利用者1人あたり平均利用料	349 円
利用者1人あたりコスト	3,577 円

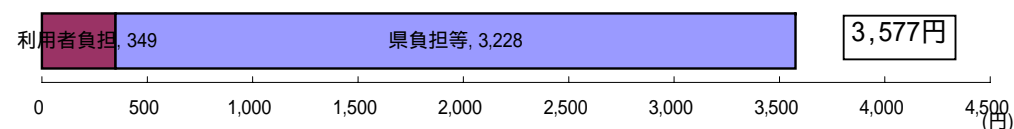
**利用状況等**

	13年度	14年度	15年度
利用者数(人)	253,804	238,076	256,663
教育普及事業参加者(人)	1,411	998	1,373

**利用者負担(利用料金)等**

入館料	大人	500円
	高校・大学生	400円
	小・中学生	250円

**利用者1人あたりのコストの状況(15年度)**



今後の事業方針・取り組み内容	<p>国内では見られない恐竜化石等を海外の姉妹提携館などから借り受ける等により、全国にアピールできる企画展を開催し、入館者の増加を図る。</p> <p>入館者の内訳を見ると団体では県内5割、県外5割程度であり、今後さらに県外からの誘客を図るため、県観光連盟等と連携してPRを積極的に推進するとともに、恐竜の復元骨格の貸し出し等、恐竜博物館を全国に認知してもらうための取り組みを進める。</p> <p>恐竜博物館独自で世界水準の学術研究成果をあげ、日本の恐竜化石研究の拠点として世界規模で研究情報の発信が行えるよう、その学術的研究機能の向上を図る。</p> <p>16年4月より休館日であった月曜日についても開館することとし、県民の利便性の向上に寄与している。</p> <p>子供から大人まで、また、一般から研究者までの幅広い層に、わかりやすい情報を提供し恐竜の世界への関心を高めていく。</p> <p>NPO後援会と連携し、来訪者にとって魅力があり求めやすい恐竜グッズ、土産物などの開発・後援に取り組む。</p>
----------------	--